



【太】 鼓部屋から神輿が出てくるところ、神社の鳥居から撮影しました。当時の祭は、にぎやかでしたわ。撮影した野口さんによると、お祭りにはパレードがあって、月光仮面が乗っていた「ホンダ・ドリム号」も登場したという。娯楽が多様化していない時代、大人も子どもも祭を楽しんだのでしょね。
(写真提供：野口昭雄さん)



いざなぎ 伊射奈岐神社

画・高宮良子

すいた市民しんぶん

2012年7月発行(年4回)
編集発行 すいた市民しんぶん刊行委員会

T 564-0032 吹田市内本町一丁目19番9号
FAX 06-6242-8420
E-mail: suita-up@xa2.so-net.ne.jp

大飯原発の再稼働に反対する多数の市民が毎週金曜日に首相官邸を包囲する中で、国会の東京電力福島第一原発事故を検証する事故調査委員会が最終報告書を衆参両院議長に提出した。被害を最小化できなかった最大の原因は危機管理体制の不備であるとのことである。危機管理体制の整備等は確かに今回の原発事故から導かれる重要な教訓であろう。

しかし、首相官邸を取り囲んでいる多くの市民が求めているのは、「発生した危機の管理」ではなく、「危機の原因」そのものの排除であろう。原発事故がもたらした地域的・空間的、また世代的・時間的にも無限に近い広がりを持つ深刻な被害を前にして、その原因となっている原発の存在そのものを問いかけているのである。

「危機の管理」を超えて、そもそも「危機の原因」自身を問ひかけ、それを排除していく方向を見いだす、それこそが市民が福島原発事故から導き出した教訓であると思われるのだ、皆さんがいかかでしょうか。
(刊行委員長/弁護士・徳井義幸)



クロスワードパズル

クロスを解いて2重枠の文字をa~g順に並べて下さい。

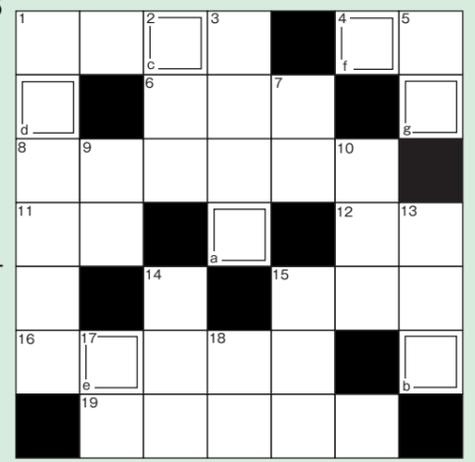
- ▼ヨコのかぎ
- ①国権の最高機関。議論は不毛、何も決定できず機能低下?
 - ④縦⇄〇〇。
 - ⑥砂糖が入っていない状態。
 - ⑧ウランとプルトニウムを混ぜたMOX燃料を燃やす。福島の第3号機がこれ。より危険な原発。
 - ⑨ネズミ目の、森に住む可愛いほ乳類。クルミが好物。
 - ⑫grass 地面に生える。広範な市民の活動を〇〇の根運動などという。
 - ⑮片膝を立てて、すばやく刀を抜き取って敵を斬る。
 - ⑯〇〇〇〇〇両親を介護する。老齡。
 - ⑰大飯原発をまた動かすって?何で?みんなで止めよう。

- おるとのことで禁止に。
- ②ハングル語で「ありがとう」は、〇〇〇ハムニダ。
 - ③事務机や椅子のメーカー。
 - ⑤キレがあるのに〇〇がある。
 - ⑦サラブレッドやアラブ。走るのが速い。
 - ⑨亭主元気で〇〇がいい。
 - ⑩大阪駅北側にオープン。隣の伊勢丹デパートよりこちらが大人気。
 - ⑬〇〇〇はV。色紙にも書きます。
 - ⑭再稼働した福井県原発。
 - ⑮板張りの戸。
 - ⑰〇〇に富んだお言葉。それとなく気づかせること。
 - ⑱タコではない。〇〇にも。

※ヒント・月が太陽を…。

- ▼タテのかぎ
- ①…ガチャ。カードが完全にそろうと、レアカードがもらえる。射幸心をあ

◆応募方法◆ カギを解き、2重枠aからgまでの文字を順に並べてできる語句が答です。①ハガキまたはメール、FAXで答、住所(〒)、氏名、すいた市民しんぶんへのご意見・ご感想を②み切:8月31日(当日消印有効)③応募先 はがき:〒564-0032吹田市内本町1-19-35 メール:suita-up@xa2.so-net.ne.jp FAX:06-6242-8420④正解者の中から10人に図書カード(1000円分)、「ご意見」掲載者には図書カード(500円分)を送ります。



すいた **今昔** 開発に次ぐ開発で、様変わりした山田地域。でも、神社のお祭りは昔のまま。

CONTENTS	
すいた市民しんぶん鼎談	
なにがなんでも	再稼働をすすめる政府と関電 2
あらゆる生態系のために	原発廃炉へ力をあわせよう 2
	消費税を引き上げるのではなく 6
	大企業と大金持ちに納税してもらおう 6
シリアレポート	3か月の子どもは地面に叩き殺され、母親は殴り殺されて…アサドは虐殺のシンボルだ 西谷文和 10
第30回吹田よっといで祭り	13
吹田溺愛主義②	吹田街道漫歩 道標に愛を告げる 8
	なにわの元プロ野球選手④ 元近鉄バファローズ 兼光 保明さん 14
	いわみせいじのヨコシマ日記⑥ 15

【山】 田伊射奈岐神社の歴史は古く、寛永13年(1636)に神殿、拝殿が建造され、明治3年(1870)に、現在の社名になったといわれる。吹田には伊射奈岐神社が2座あって、1つは佐井寺、そしてもう1つがこの山田にある。裏表紙の写真は昭和32年、伊射奈岐神社の秋祭りの様子。児童を乗せた太鼓神輿が、今まさに神社を出て、町内を巡幸する時のスナップ。神輿に担がれた子どもは、神聖な存在なので、乗り降りするときは地面に足が触れないように肩に乗せて移動するといふ。山田村が吹田市に合併されたのは、昭和30年(1955)のことだが、この伊射奈岐神社は、昔も今も地域住民の心のよりどころ。高度成長、万博、マンシヨンの林立などで、山田地域の風景は変貌したが、神社のお祭りはずっとそのままだ。

▼吹田の小学校給食の民間委託が9月から3校で始まる。今までのようにきめ細かなアレルギー除去食は提供されるのか、食の安全は? 食育が叫ばれる時に、何よりも性急なことが気掛かりだ。(て)

▼アフガン復興東京会議で日本は30億ドル支援することになった。普通の人々に支援が届けばいいのだが、おそらくカルザイ政権へのワイロに消える。政府は金を出すだけではなく、カルザイを監督、指導しないとダメ。しかしJICAは現地で「治安が悪い」と事務所にこもっている。援助金がまたも消えていくのか? (ふ)

▼マスコミ報道によると、東部拠点に誘致しようとしていた国立循環器病研究センターの建替え予定地は箕面市が有力であるとの報道がされている。もし事実なら、計画そのものが白紙に戻ることに、責任問題にも発展しかねない。乱開発といわれる開発にはしてほしくないものだ。(に)